

デザイン工学部建築学科

准教授 浜田英明

鹿島出版会 SD レビュー2018 奨励賞

「石と屋根 小さなホテルとワイナリー」

日本有数の優れた安山岩「根府川石」の産地、小田原市根府川。その根府川にある、海と山に囲まれた、かつての石切場。これはその再生計画案である。この敷地に新たな生業をつくり、この土地だからこそできる建築をつくることをコンセプトに、暮らすように宿る滞在型の小さなホテルと地域経済の再活性化を目指すワイナリーを計画した。

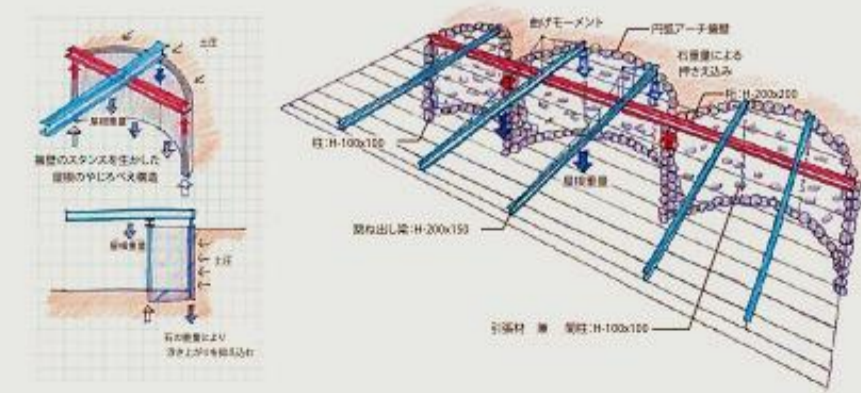
小さなホテルは、この地域に点在するみかんの段々畑と百姓積みと呼ばれる石垣を建築言語として、その高低差を利用しながら客室と「石のラウンジ」を配置した。「石のラウンジ」は、段差と石の重量をうまく使いながら、眼下に広がる海への眺望を柱で遮ることのないよう、やじろべえ型のキャンチレバー屋根としている。

ワイナリーは、この石切場で発生した石材をそのまま屋根材や壁材として再利用した「石のワイナリー」としている。この土地の石が、熟成に最適な室温と湿度をつくり出し、おいしいワインづくりに貢献しながら、その重量によって安定的な逆アーチによる自碇式吊り屋根構造を形成している。

SD レビューは鹿島出版会の主催する、実施を前提とした設計中ないしは施行中の建築、屋外空間、インテリアのドローイングと模型の入選・賞である。2018年度は、応募総数243点から14作品が入選となり、東京展会場による二次審査会によって、本作品を含む4作品が入賞となった。本作品は、近年全く構造材料として用いられなくなった石を大々的に構造的な材料として使いながら、要所で意匠デザインと構造デザインが高度に融合されている点などが評価された。



石のラウンジ【円弧アーチ擁壁 + やじろべえ構造】



石のワイナリー【逆アーチによる自碇式吊り屋根構造】

